

イベント情報

きのこのほだ木づくり

オオムラサキ自然公園の間伐材に、きのこの菌をうえてみましょう！

開催日時 **3月9日（日）**
午前10時から12時まで
定 員 40名
開催場所 オオムラサキ自然公園
協 力 秋山種菌
持ち物等 軍手・かなづち又はきづち・ドリル（作業がスムーズに進みます）・作業のできる服装
主 催 長坂あぜ道の会
※ 雨天決行

森の工作教室

本立て・マガジンラック・状差しなどを自分で作ってみよう！

教室が開いている日と時間

3月8日（土）・16日（日）

午前10時から12時まで

講 師 田中 晃
定 員 20名
開催場所 森林科学館（オオムラサキセンター隣接）
服 装 作業のできる服装
入 館 料 大人400円、小中学生200円
（町内中学生以下は無料）
材 料 費 作るものにより、500円～700円の材料費がかかります。

春の幼虫かんさつ会

もうすぐ春ですよ！さむいさむい冬を乗り越えたオオムラサキの幼虫を、観察してみましょう！

開催日時 **3月23日（日）**
午前10時から12時まで
定 員 20名
開催場所 びばりうむ長坂
服 装 汚れても良い服装・防寒着
入 館 料 大人400円、小中学生200円
（町内中学生以下は無料）

小枝でつくる！虫の工作

小枝を使って、カブトムシなどの昆虫を作ってみよう！
教室が開いている日と時間

3月28日（金）・29日（土）

午前10時から12時まで

講 師 田中 晃
定 員 20名
開催場所 森林科学館
服 装 作業のできる服装
入 館 料 大人400円、小中学生200円
（町内中学生以下は無料）

ありがとうございました！お元気で。

オオムラサキセンターの職員の小澤久さんが、2月いっぱい退職します。イベントの準備やオオムラサキセンターのHP作成など様々な場面で活躍し、正に「縁の下力持ち」でした。

これから新しい道へ進んでゆくことを、心から祝福したいと思います。

オオムラサキ通信



発行：平成15年2月28日

編集：長坂町オオムラサキセンター

〒408-0022 山梨県北巨摩郡長坂町塚川 2812 番地

TEL&Fax 0551-32-6648

No.58

オオムラサキ博士になろう！

このコーナーでは、身近な自然のことや知っているようで知らない昆虫のことなどを紹介していきます。

針葉樹の植林は悪か？

今年も花粉症の時期になりました。アレルギーをお持ちの方は大変ですね。くしゃみや鼻水などアレルギー症状を起こす花粉は、管理を放棄された山のスギ・ヒノキなどの針葉樹林から飛んできます。これらの林は花粉だけでなく土砂災害の原因にもなるので、悪者扱いです。なぜこんな厄介な林をあちこちに造ってしまったのでしょうか？

第二次大戦後の国内では荒れた国土を元に戻したり、物資の不足を補うため、植林が必要となりました。それには成長が早く良質な材となり、なおかつ日本の風土にあった木を選ばなければなりません。これらの条件を満たす木がスギ・ヒノキだったわけです。国は全国の土壌調査を行い植林に適した場所を検討しました。スギやヒノキの生育には乾燥した尾根や湿潤な沢よりも、その中間の山腹の土が適しているからです。ところが、尾根や沢にも強引に植林が行なわれました。さらに高度成長期になるとガスや電気が普及して薪や炭が使われなくなり、ナラなどの広葉樹林が次々にスギやヒノキ林に転換されました。こうしてスギやヒノキの植林地は急増しました。現在、これらの木は植林して四、五十年が経ち、収穫期を迎えています。しかし収穫は全く行なわれていません。

これは高度成長期に若者が山間地から都市へ流れ、林業後継者が減少したためです。さらに外国材の輸入規制緩和とともに、東南アジアからチークやラワンなど安価な材が大量に輸入されるようになりました。購入業者が輸入から加工まで一手に引き受けられる外国材は、流通経路が複雑で値段も高い国産材よりも人気が出たのです。このため針葉樹林はますます放棄はされました。通常、間伐によって適切に密度の管理をしたスギ・ヒノキの幹は太いですが、管理を放棄したスギは細長い鉛筆のようです。これでは収穫する意味がありません。スギ・ヒノキ林は病害虫の巣窟となり、花粉症の原因ともなりました。また尾根や沢筋など生育に向かない植林地では土砂災害が多発しています。

しかし屋久島や尾鷲、木曾などスギ・ヒノキの名産地をお訪ね下さい。生育に適した場所に植えて密度の管理を行えば、スギやヒノキは太くて良質な材を供給する立派な林になることが解るでしょう。こうした林では、広葉樹林と同じぐらい多くの生物が棲み、保水力も豊かであることが実証されています。スギ・ヒノキの植林は本来悪いことではありません。悪者になったのは私たち人間の責任なのです。（文責／小林隆人）

お問い合わせ・お申込は

〒408-0022
山梨県北巨摩郡長坂町塚川 2812 番地
長坂町オオムラサキセンター
TEL&Fax 0551-32-6648
URL <http://www.yatsu.gr.jp/ngs/oomurasaki/index.html>

エノキコーナー vol 21

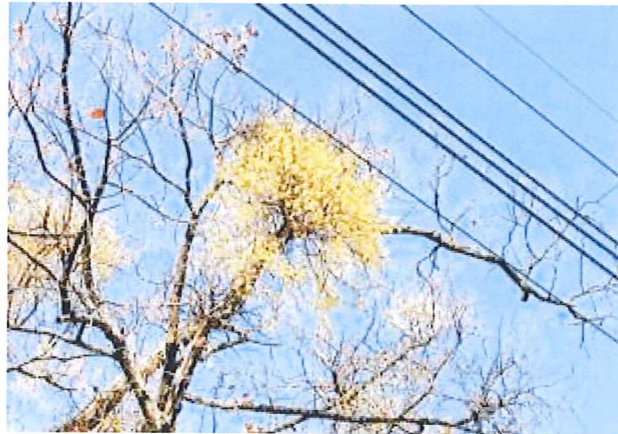
植物の知恵

枯れ木に花が咲きました。

いいえ、遠くから黄色い花のように見えたのは本当は小さい木の実の集まりでした。

平成14年12月17日。小淵沢町の大宮神社の境内で不思議な木に出会いました。ホザキヤドリギです。実が穂状につくのでこの名がつけました。「ヤドリギ」は変換すると「寄生木」と出てきます。字のとおりこの木は他の木に寄生する植物です。実は、あずき粒くらいの楕円形で実をつぶすとネバネバした果肉が種子をつつんでいます。この実が鳥に食べられたり動物などの体について運ばれ木の幹に付着して仲間を増やすのです。ホザキヤドリギは他のヤドリギの仲間と違い冬には落葉するために実が目につきやすいのです。

自然とオオムラサキに親しむ会 板山 武人



ミズナラの木に寄生したホザキヤドリギ (小淵沢町)



ホザキヤドリギの果穂

もうすぐ春ですね

- ① 公園の斜面の残雪がいつのまにかなくなりました。
- ② トチノキ、クマシデ、クヌギ…木々の冬芽が膨らんできました。
- ③ ウメの花のつぼみも膨らんできました。
- ④ クローバー、スイセン、草の緑色が目立ってきました。
- ⑤ 川や池の氷もなくなりました。池ではクロメダカ (野生メダカ) が泳ぎ始めました。
- ⑥ だいぶ日が長くなりましたね。閉館時刻の5時になっても、外は明るいです。
- ⑦ 花壇ではパンジーの花が満開です。
- ⑧ 歩道の日だまりではフキノトウの芽が開き始めました。
- ⑨ 山から聞こえるチェーンソーの音、公園内では、雑木林を整備するために間伐をしながら炭やホダ木の材料を切り出しています。昔はこの時期、山では斧の音が響いていたのかな。
- ⑩ ミズキやクルミの木を切った切り口から、水がたくさん、したたります。木が水を吸い上げ始めたようです。

以上、春の到来を間近に感じさせる、公園内のでできごとでした。

2月9日(日)に、日野春農村公園において、「炭焼き教室」が行なわれました。当日は、小春日和のなか11名の方が参加し、伏せ焼きという方法で炭を作りました。この伏せ焼きとは、地面に穴を掘って材を入れ、トタンでつくった屋根に土をかぶせて蒸し焼きにする方法で、みなさんのご家庭でも手軽にできます。ぜひ、一度お試しください。



2月15日(土)午後3時より、森林科学館において、峡北・北杜高校ギター部の協力を得て、「spring guitar concert in ながさか」が行なわれました。当日のステージは3部構成となっていて、卒業生のステージなどもあり、演奏を聴きにきた約50名の方は、ゆったりと音楽を楽しんでいました。



★楽しかったね! 2月のイベント★

2月16日(日)午前10時より、「くんせいづくり」が行なわれました。当日は、雪のちらつく中、21名の方が参加しました。カワマスを材料に、約1時間半ほどスモークにかけました。スモークに使った容器は一斗缶を2つ縦に連結したもので、チップにはサクラの枝を用いました。これも上記の炭焼きと同様、ご家庭でも簡単に作れます。みなさんもチャレンジしてみてください。



2月16日(日)午後1時30分より、オオムラサキセンターで、自然写真家の牛山俊男さんを講師に迎えて、「オーロラ講演会 ~その影(いろ)と神秘の世界~」が行なわれました。約50名の方が参加し、スクリーンいっぱい次々と広がる美しいオーロラや、ビデオで撮影されたオーロラの動きに見入っていました。また、アラスカの自然や氷点下10度の世界での撮影の様子なども、講師の臨場感あふれる巧みな話術で紹介され、参加者の方々も大変満足していました。



卵がうまれたよ!

昨年の12月にやってきたアイガモが卵を5つうみました。ヒナが孵るのが楽しみです。